

マイボトル

～若年層に向けた自販機～



マイボトルにした理由

自分たちは普段から使っているが、実際にはあまり使われていないと感じた。



そこから

使用率を上げることができそうな案を思いつき、活動しようと考えた。

目次

1. マイボトルの説明
2. 伊勢市の取り組み
3. 私たちの案
4. まとめ

マイボトルの説明



nice



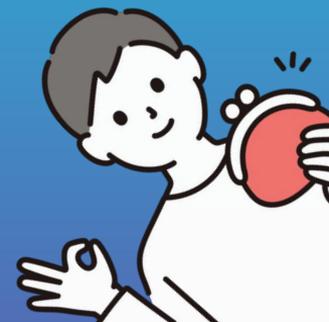
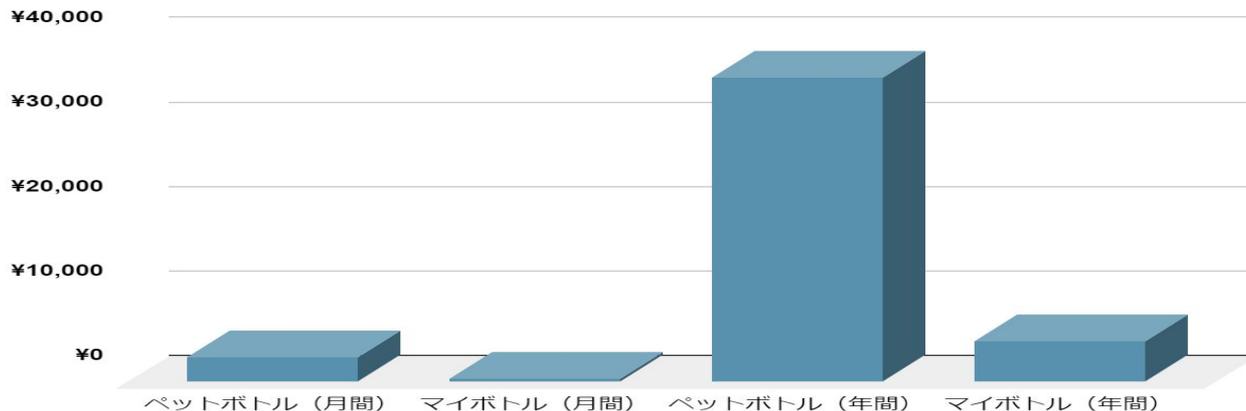
いいね

絶大な節約効果

ペットボトルを毎日買うと…

150円(一本)×20日(一か月の通勤・通学)=3,000円 年間36,000円

ペットボトルとマイボトルの費用の比較



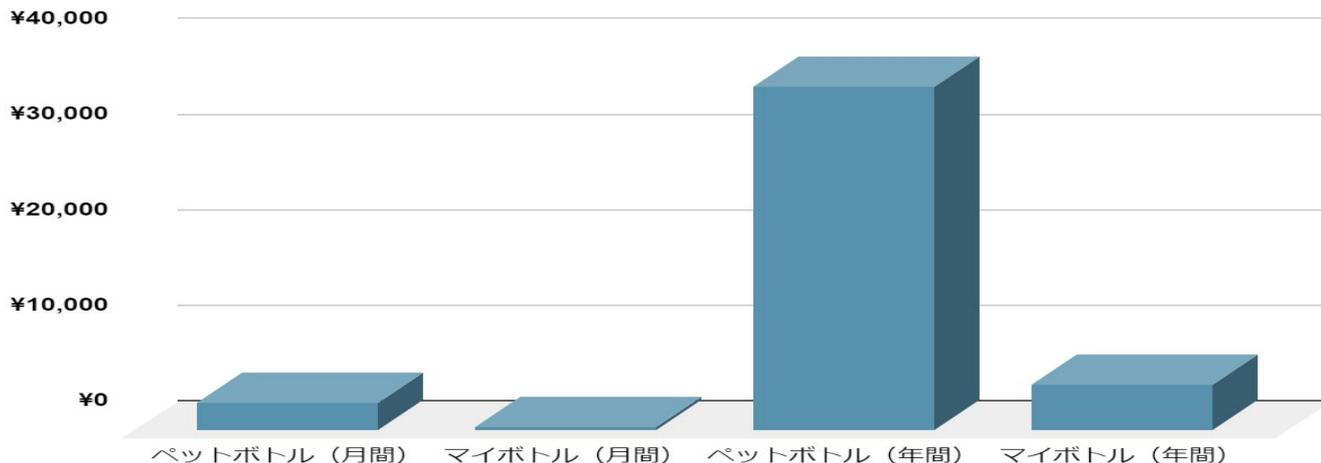
マイボトルを持つと…

インスタントコーヒー一杯10円～50円

ドリップ式一杯20円 ティーパック一杯10円

毎月平均400円 年間平均4800円

ペットボトルとマイボトルの費用の比較



優れた保温性、保冷性

朝飲み物を入れると夕方まで飲み頃をキープしてくれる

いつでも飲める

持ち歩くので、コンビニや自販機によらなくて済む

環境資源に優しい



• ペットボトルのように使い捨てではないので繰り返し使える

• プラスチックの消費を抑えて環境に優しい



2016年時点での時点での

ペットボトルの国内使用量

年間で227億本

一ヶ月

$227\text{億} \div 12\text{月} = 19.3\text{億}$

約19億本

一週間

$227\text{億} \div 48\text{週} = 4.8\text{億}$

約5億本

一日

$227\text{億} \div 365\text{日} = 0.635\text{億}$

約6400万本

一人当たり

$227\text{億} \div 1.27\text{億人} = 182.6\text{本}$

約183本

伊勢市の取り組み



伊勢市

伊勢市の取り組みテーマ

「マイボトル」「マイカップ」を持ち歩こう!!

職場や学校、外出先にマイボトル、マイカップ

↓ 持参

ペットボトルなどの使い捨て容器を削減できる。

環境の負荷を減らすことができる！



伊勢市の取り組みの具体例

- ① 推進事業所・施設での
マイボトル・マイカップの持参を推進
- ② 協力店でマイボトル・マイカップ利用の
飲料の提供
- ③ マイボトル協力店・推進事業者を
伊勢市公式ホームページで宣伝する

伊勢市との協力店・推進事業者

- ・マイボトル協力店

スターバックス(伊勢ララパーク店)、(伊勢内宮前店)

- ・マイボトル推進事業者

スターバックス(伊勢ララパーク店)、(伊勢内宮前店)

ぎゅーとら

三水フーズ

メリット



- ・マイボトルを使う人が増える
- ・ペットボトルのごみが減る
- ・協力店では対象の飲料を22円引きで買える
- ・協力店、協力企業の社会的信用が上がる

デメリット

- ①設置費用や維持費が高い
- ②企業に協力してもらう必要がある



私たちの案



私たちの案

マイボトルを使えるドリンクバーのようなものをコンビニなどに設置

若年層向け

ジュースを飲めるようにする

なぜ若者に？

私たちの視点→若者が持ちたくなる対策が少ない？



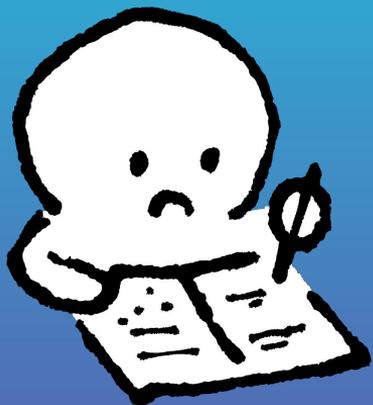
若者への対策が必要！！

京都大学の調査



持ち歩かないと回答

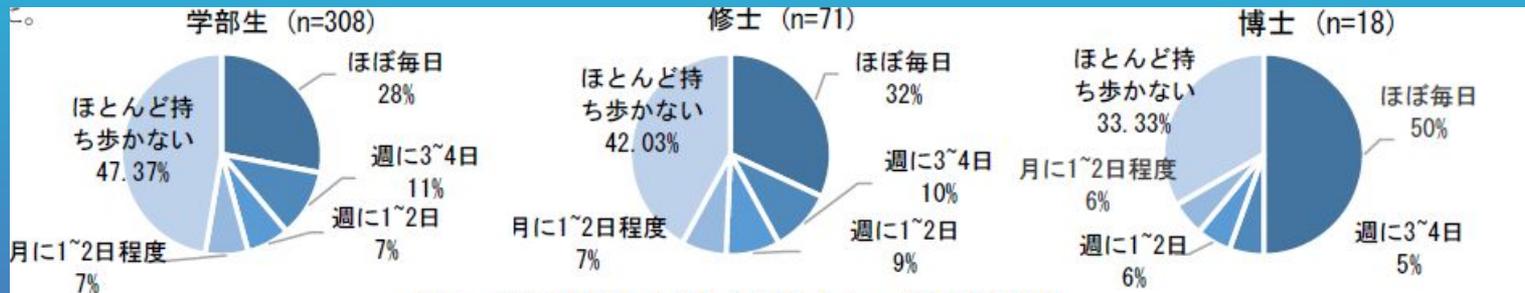
47.4%



根拠

京都大学のマイボトルやペットボトル利用のアンケート調査にて
アンケートの結果

学部生→47.37% 修士→42.03% 博士→33.33%がほとんど持ち歩かない
学部生→7% 修士→7% 博士→6% が月1~3日程度
学部生→7% 修士→9% 博士→6% が週1~3日程度
学部生→11% 修士→10% 博士→5% が週3~4日程度



博士から学部生に向けて年齢が若くなるに連れて所持率が低くなっている

大学生のマイボトルやペットボトル利用に関する意識・行動調査

https://www.istage.ist.go.jp/article/ismcwm/31/0/31_3/pdf/-char/ja



図2 代替策へ対する態度の4段階分析結果

グラフから

棒グラフにあったような対策



上位三位

無料給水所

マイボトル持参のコーヒー割引

マイボトル対応の安価な自販機



まだ例を調べても出てこないくらいできていない自販機

自販機に加えて今あるもので分かりやすいもの

ドリンクバー

内容

- ・おなじみのドリンクバーを利用し、マイボトルにジュースを入れられるようにする
- ・マイボトル対応の自販機を開発、利用する

ドリンクバーは基本的に飲料メーカーと契約をして無料でレンタルをする形になる。
(ドリンクもメーカー負担??)

わたしたちの知っているドリンクバーはコップを置く大きさに作られているので多少の改良は必要

自販機は現在主流となっている自販機の形で町中であって、マイボトルをセットして使う形の自販機を新しく作るか、紙コップ型の自販機を利用して多少改良するなどしたらいいと思う

どちらも改良が必要な可能性が高い→費用はわからない

メリット

- マイボトルを使う人が増える
- ペットボトルのごみが減る
- 若者の使用率が上がる



デメリット

- 設置費用や維持費が高い可能性
- コンビニエンスストアに協力してもらう必要がある



そこで！！

かいいけっあん！

ドリンクバー本体 費用

契約方法

①買取

②リース

③レンタル

初期費用をかけられる・・・買取
長期的に利用する・・・リース
導入コストをかけたくない・・・レンタル

タイプ	給茶機・導入費用	保守費用	お茶代 (月) 100杯×2 2日	5年間の合計費用
買取	40～50万円 一時金	故障が仮に5年 間に2回発生で 仮100,000円	自由に購入 1.4円×2200杯= 3,080円	684,800～584,8 00円 6年目からはお 茶代のみ
リース	8,000～10,000円 ／月 5年間限定	故障が仮に5年 間に2回発生で 仮100,000円	自由に購入 1.4円×2200杯= 3,080円	764,800～884,8 00円 6年目からはお 茶代のみ
レンタル	5,000～10,000円 ／月 永続的	0円	レンタル会社よ り 購入が必須条件 5.9円×2200杯=1 3,000円	1,080,000～1,38 0,000円 6年目以降も必 要

ドリンクバー ソフトドリンク 費用

ドリンクバーのソフトドリンクとは！！！！



10円以下で収まる



ドリンクバー ソフトドリンク 費用

原液タンク1本 ÷ 作れる数

一杯あたり5円以下

設備費、水道代、炭酸代、氷代を考慮しても

一杯あたり10円以下

ドリンクバーでは元がとれない

コンビニに協力してもらうには

ドリンクバーを契約する必要

コンビニ・・・なし

伊勢市・・・あり

契約→伊勢市

設置→コンビニ

利益→伊勢市

コンビニ

均等、もしくは6:4や7:3

まとめ

- ・伊勢市の取り組み

スターバックスなどの店舗と協力

- ・私たちの案

コンビニにマイボトル対応の

自動販売機を設置

伊勢市の
取り組み

協力

私たちの案

より多くの世代に！！

THE



END